



# 平成25年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月6日

上場会社名 不二電機工業株式会社  
コード番号 6654 URL <http://www.fujidk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小西 正

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理部門統括 兼総務部長 (氏名) 福永 孝一

TEL 075-221-7978

四半期報告書提出予定日 平成24年9月10日 配当支払開始予定日 平成24年10月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年1月期第2四半期の業績(平成24年2月1日～平成24年7月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年1月期第2四半期	1,643	0.9	178	△4.8	190	△6.3	111	△6.6
24年1月期第2四半期	1,628	11.3	187	△5.0	203	△4.4	118	△4.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年1月期第2四半期	17.56	17.56
24年1月期第2四半期	18.46	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年1月期第2四半期	10,575	9,993	94.5	1,586.56
24年1月期	10,653	10,116	95.0	1,569.08

(参考) 自己資本 25年1月期第2四半期 9,992百万円 24年1月期 10,116百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年1月期	—	12.50	—	12.50	25.00
25年1月期	—	12.50	—	—	—
25年1月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年1月期の業績予想(平成24年2月1日～平成25年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	6.3	441	22.0	463	18.1	275	23.6	43.57

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年1月期2Q	6,669,000 株	24年1月期	6,669,000 株
25年1月期2Q	370,823 株	24年1月期	221,408 株
25年1月期2Q	6,331,847 株	24年1月期2Q	6,447,592 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

決算補足説明資料は平成24年9月7日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報 .....	3
(4) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
第2四半期累計期間 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) セグメント情報等 .....	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(7) 重要な後発事象 .....	9
4. 補足情報 .....	10
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの本格的な復興により、緩やかに回復し、企業における生産活動や設備投資にも持ち直しの動きがみられました。しかし、欧州金融不安による世界経済の減速や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化、円高の長期化など、景気の下振れリスクが懸念され、その先行きに不透明な状況が続いております。

このような状況のもとで、国内では電力、電鉄・車両業界、海外では東南アジアや中近東各国を重点に営業活動を行った結果、鉄道車両向けスイッチや海外向けカムスイッチ、落下式故障表示器が好調に推移したことから、当第2四半期累計期間の売上高は1,643百万円(前年同期比0.9%増)となりました。

利益面におきましては、上期に予定していた海外向け売上が下期に先送りされたため、売上高が前年同期に対し微増に留まったこと並びに昨年3月に竣工したみなみ草津工場の稼働に伴い、減価償却費や人件費が増加したことから、営業利益は178百万円(前年同期比4.8%減)、経常利益は190百万円(前年同期比6.3%減)、四半期純利益は111百万円(前年同期比6.6%減)となりました。

売上の状況は次のとおりであります。

なお、当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、売上の状況につきましては、製品分類ごとに記載しております。

#### (制御用開閉器)

受配電設備の遮断器用補助スイッチが急増したほか、鉄道車両用カム式押しボタンスイッチの新規採用に加え、海外向けカムスイッチや既存の鉄道車両用スイッチも好調に推移したことから、売上高は438百万円(前年同期比9.4%増)となりました。

#### (接続機器)

電力向けのサージアブソーバ端子台は好調に推移しましたが、海外の電力保護装置向け試験用端子が落ち込み、一般産業向け端子台も低調であったことから、売上高は710百万円(前年同期比3.3%減)となりました。

#### (表示灯・表示器)

国内外の変電設備向け落下式故障表示器が前年同期比40%以上の伸びを示したほか、表示器マクリットや鉄道車両用表示灯も好調に推移したことから、売上高は239百万円(前年同期比15.7%増)となりました。

#### (電子応用機器)

前年好調であった高速鉄道変電設備向けI/Oターミナルやインターフェイスユニットが減少したほか、保護リレー用ハイブリッドモジュールも低調であったことから、売上高は255百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末比78百万円減少し、10,575百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少158百万円、投資有価証券の増加83百万円等によるものであります。

#### ②負債

当第2四半期会計期間末における負債は、前事業年度末比45百万円増加し、582百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加25百万円及び未払法人税等の増加10百万円等によるものであります。

#### ③純資産

当第2四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末比123百万円減少し、9,993百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加30百万円及び自己株式の増加144百万円等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ58百万円減少し、419百万円(前年同四半期は317百万円)となりました。

各キャッシュ・フローの状況と要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動による資金の増加は、298百万円(前年同期は3百万円)となりました。主なプラス要因は、税引前四半期純利益187百万円、減価償却費128百万円であり、主なマイナス要因は、法人税等の支払額65百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動による資金の減少は、131百万円(前年同期比53.5%減)となりました。要因は、定期預金の払戻による収入100百万円(同預入による支出との純額)、新製品の金型製作をはじめとする金型投資を含む有形固定資産の取得による支出130百万円及び国債等の投資有価証券の取得による支出100百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動による資金の減少は、224百万円(前年同期比180.6%増)となりました。要因は、自己株式の取得による支出144百万円及び配当金の支払額80百万円によるものであります。

(4) 業績予想に関する定性的情報

平成25年1月期の業績予想につきましては、平成24年3月8日付「平成24年1月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報 (その他) に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年 1 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成24年 7 月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,577,555	4,419,221
受取手形及び売掛金	1,197,418	1,176,738
有価証券	402,480	400,520
製品	138,769	143,294
仕掛品	338,371	360,659
原材料	372,994	354,286
その他	71,915	78,858
流動資産合計	7,099,505	6,933,579
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,141,733	1,099,313
土地	1,357,427	1,357,427
その他(純額)	279,479	325,410
有形固定資産合計	2,778,641	2,782,151
無形固定資産	25,736	22,113
投資その他の資産		
投資有価証券	726,159	809,676
その他	23,765	28,044
投資その他の資産合計	749,925	837,720
固定資産合計	3,554,303	3,641,985
資産合計	10,653,808	10,575,564

(単位: 千円)

	前事業年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年7月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	79,835	105,780
短期借入金	180,000	180,000
未払法人税等	68,510	79,319
賞与引当金	46,373	46,227
役員賞与引当金	15,780	6,480
その他	105,036	124,713
流動負債合計	495,536	542,521
固定負債	41,464	40,004
負債合計	537,000	582,525
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,087,250	1,087,250
資本剰余金	1,704,240	1,704,240
利益剰余金	7,399,854	7,430,452
自己株式	△113,321	△257,954
株主資本合計	10,078,023	9,963,988
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,785	28,438
評価・換算差額等合計	38,785	28,438
新株予約権	—	612
純資産合計	10,116,808	9,993,039
負債純資産合計	10,653,808	10,575,564

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
売上高	1,628,597	1,643,965
売上原価	1,036,216	1,068,633
売上総利益	592,381	575,332
販売費及び一般管理費	405,120	396,989
営業利益	187,260	178,343
営業外収益		
受取利息	9,316	7,977
受取配当金	2,840	2,770
その他	5,627	3,446
営業外収益合計	17,784	14,194
営業外費用		
支払利息	1,324	1,330
支払手数料	—	321
営業外費用合計	1,324	1,651
経常利益	203,721	190,885
特別損失		
固定資産除却損	220	16
投資有価証券評価損	—	3,343
特別損失合計	220	3,360
税引前四半期純利益	203,501	187,525
法人税等	84,502	76,331
四半期純利益	118,999	111,193

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	203,501	187,525
減価償却費	128,614	128,712
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,550	△9,300
受取利息及び受取配当金	△12,156	△10,747
支払利息	1,324	1,330
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	3,343
有形固定資産除却損	220	16
売上債権の増減額 (△は増加)	△160,737	20,679
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△116,323	△8,104
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,787	25,945
その他	34,026	12,140
小計	96,705	351,540
利息及び配当金の受取額	15,910	13,729
利息の支払額	△1,165	△1,345
法人税等の支払額	△108,034	△65,793
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,416	298,130
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,100,000	△4,000,000
定期預金の払戻による収入	4,200,000	4,100,000
有形固定資産の取得による支出	△380,679	△130,737
無形固定資産の取得による支出	△1,505	—
投資有価証券の取得による支出	△336	△100,739
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282,520	△131,476
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△144,954
配当金の支払額	△80,177	△80,032
財務活動によるキャッシュ・フロー	△80,177	△224,987
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△359,281	△58,334
現金及び現金同等物の期首残高	676,621	477,555
現金及び現金同等物の四半期末残高	317,339	419,221

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

当社は、電気制御機器の製造加工及び販売事業のみであるため、製品分類別に記載しております。

## [生産実績]

当第2四半期累計期間の生産実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	404,248	△1.0
接続機器 (千円)	763,577	△5.0
表示灯・表示器 (千円)	229,294	△0.6
電子応用機器 (千円)	255,141	△15.8
合計 (千円)	1,652,262	△5.4

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。  
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## [受注状況]

当第2四半期累計期間の受注状況を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
制御用開閉器	450,533	8.1	116,018	△1.7
接続機器	699,973	△8.3	101,691	△29.5
表示灯・表示器	264,542	22.6	70,832	85.4
電子応用機器	251,388	△24.8	89,000	△33.8
合計	1,666,437	△3.7	377,543	△13.2

- (注) 1. 金額は販売価格で表示しております。  
2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

## [販売実績]

① 当第2四半期累計期間の販売実績を製品分類別に示すと、次のとおりであります。

製品分類	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	前年同期比 (%)
制御用開閉器 (千円)	438,160	9.4
接続機器 (千円)	710,949	△3.3
表示灯・表示器 (千円)	239,305	15.7
電子応用機器 (千円)	255,550	△10.8
合計 (千円)	1,643,965	0.9

(注) 上記金額には消費税等は含まれておりません。

② 当第2四半期累計期間の販売実績を販路別に示すと、次のとおりであります。

販路	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	前年同期比 (%)
メーカー (千円)	1,052,316	5.8
国内向け商社 (千円)	367,736	△14.3
海外向け商社 (千円)	223,912	9.1
合計 (千円)	1,643,965	0.9

(注) 1. 金額は販売価格で表示しております。

2. 上記金額には消費税等は含まれておりません。

3. 当第2四半期累計期間の海外向け商社の主要な輸出先及び輸出販売高及び割合は、次のとおりであります。

なお、海外向け商社への販売実績は、総販売実績の13.6%となっております。

販路	当第2四半期累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)
東南アジア	67,597	30.2
中近東	131,383	58.7
中国	24,931	11.1
合計	223,912	100.0

以 上